

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2392 号

Expression of lipocalin-type prostaglandin D synthase in preeclampsia patients: a novel marker for preeclampsia

(妊娠高血圧症候群の患者におけるリポカリン型プロスタグランジン D 合成酵素の発現 —妊娠高血圧症候群の新たな指標—)

木下 二宣 (きのした かずのり)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、腎疾患患者や虚血性心疾患患者においてその体液中の増加が確認され、血管内皮障害の指標として注目されていたリポカリン型プロスタグランジン D 合成酵素

(L-PGDS) を、産科領域において同じく血管内皮障害に起因する疾患で、妊産婦死亡を引き起こす重篤な産科合併症である妊娠高血圧症候群の診断に用いる有用性を示した初めての論文である。

その発症後に生じる急速な重症化や、母体胎児への後遺症の発生から妊娠高血圧症候群の早期診断は今までも多くの研究が行われてきたが、未だ臨床において有効な検査方法は確立していない。

この研究は今後、妊娠高血圧症候群の発症予知マーカーとなる可能性や、重症妊娠高血圧症候群患者の早期抽出、早期加療の可能性を有し、その結果妊産婦死亡率の低下、未熟児出生率の低下、新生児死亡率の低下へと発展しうる可能性を有した革新的研究である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。